

第12回

京都都市緑化  
写真コンクール  
入選作品集

(平成8年度)

緑とオープンスペースは、大気の浄化・気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関するさまざまな行事が行われました。

京都では、この「都市緑化月間」の行事のひとつとして、「街の緑と公園」、「身近な小さな緑」、「窓辺の花や緑」などを主題とした「第12回京都都市緑化写真コンクール」を行い、304点の応募作品の中から入選作品として優秀な作品45点を選びました。

主催 京都府都市計画協会  
共催 京都府・京都市  
(財)京都府公園公社  
(財)京都市都市緑化協会  
(社)京都府造園建設業協会

## 入賞作品一覧

京都府知事賞 「みそぞぎ川の緑」  
京都市長賞 「花いっぱいの家」

(財) 京都府公園公社理事長賞	「白い館」
(財) 京都市都市緑化協会理事長賞	「桜花とみどり」
(社) 京都府造園建設業協会会长賞	「木ノ蔭恋し」

優秀賞  
(順不同) 「緑のシャワーを帶びて  
「自然の中で遊ぶ」

- 「町家の花壇」
- 「ビル街の緑」
- 「緑の散歩道」
- 「緑を乗せて」
- 「三室戸寺」
- 「休日のひととき」
- 「整備されたグンゼ記念館」
- 「緑のレフレクション」

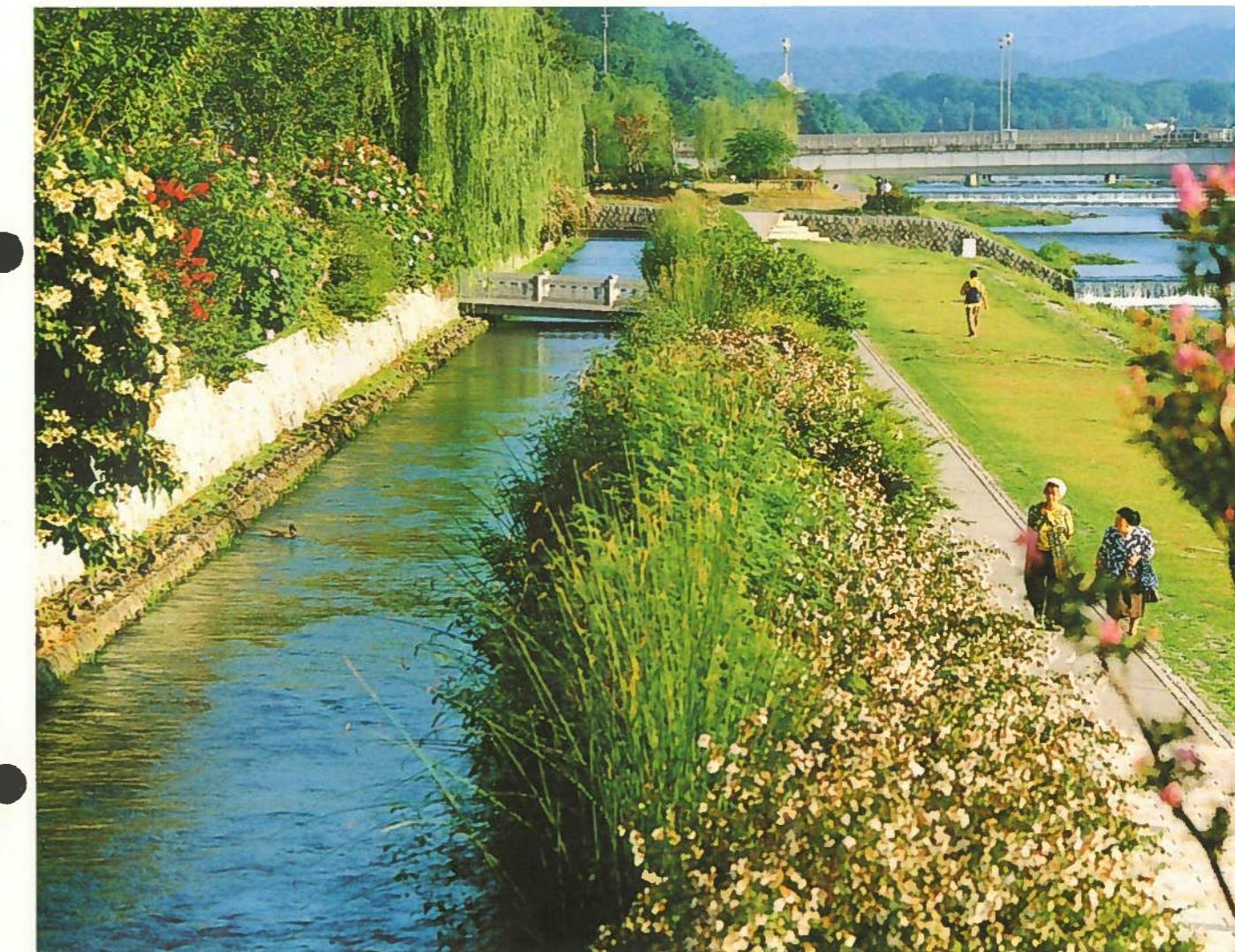
佳 作 「歩道」  
(順不同) 「ゴールデンハット」

- 「京都の街路樹」
- 「噴水」
- 「花の手入」
- 「水辺の木蔭」
- 「せせらぎの道」
- 「夏の朝」
- 「東寺のはす池」
- 「ビルに写る木々」
- 「街路樹」
- 「グリンロード」
- 「小雨の街角」
- 「水と緑」
- 「散策」

- 「北山メルヘン」
- 「新緑の下で」
- 「さるすべり咲く川沿いの道」
- 「きらびやか」
- 「緑下のブルペン」
- 「新緑と育つ」
- 「木陰で一休み ~暑かったね~」
- 「新緑の池畔」
- 「花と緑の家」
- 「ビューティフルサンデー」
- 「さるすべりと洋館の家」
- 「水上のリハーサル」
- 「橋と池と緑」
- 「赤いポストの家」
- 「5月の色」

男子勝子一彦一夫則夫子子義業豐實治臣郎博美一子雄夫男一男三子豐稔子三男美二子郎実一郎功章雄茂美夕利武米邦正敦順純貞正弘二清政好松敏盛精照湖キ咲直隆寿亮幸怜一敏田口邑木倉田田納本川川本達藤林村川木津田村道橋野井田崎川上野月野田岡藤保井川崎田本月秋野中平板倉戸嘉藤中北山安安河西有伏森名井横高上白太畠浜寺大中合天岡長森近原久石笠田余杉片

— 京都府知事賞 —



「みそそぎ川の緑」 秋田茂男

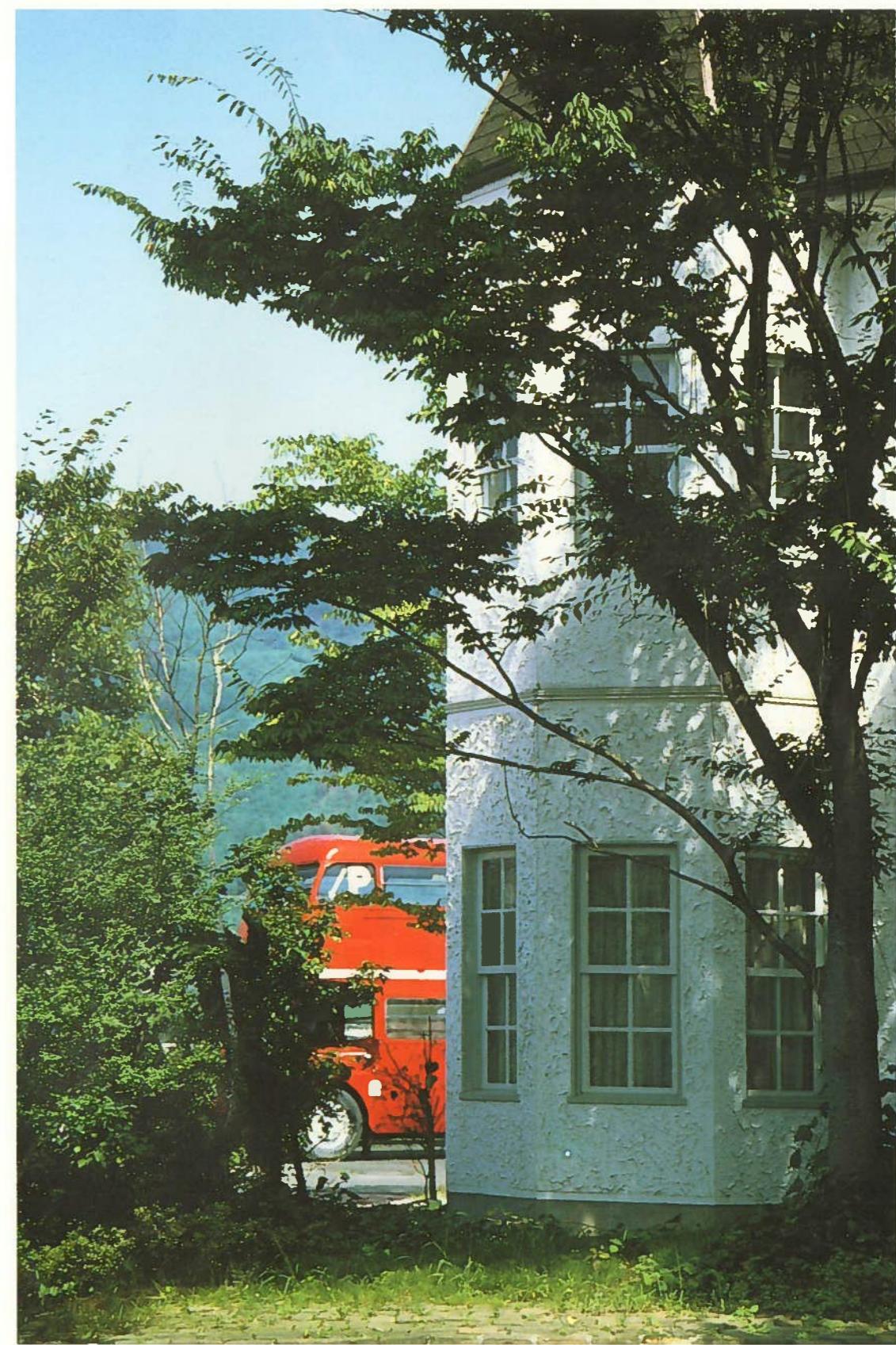
京都府知事賞1点、京都市長賞1点、(財)京都府公園公社理事長賞1点、  
(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点、(社)京都府造園建設業協会長賞1点、優秀賞10点、佳作30点 合計45点

— 京都市長賞 —



「花いっぱいの家」野口美子

— (財)京都府公園公社理事長賞 —



「白い館」中邑 勝

— (財)京都市都市緑化協会理事長賞 —



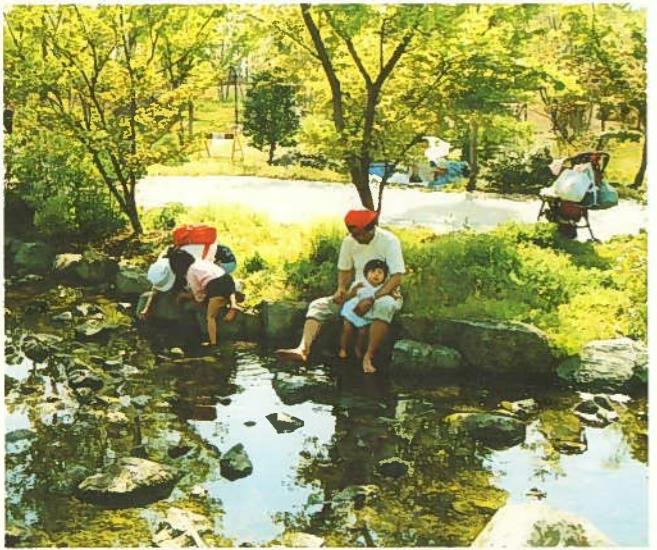
「桜花とみどり」 平木タミ子

— (社)京都府造園建設業協会長賞 —

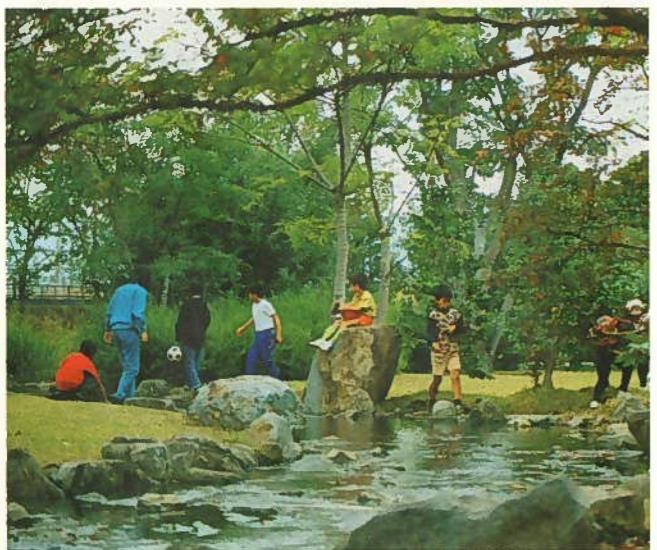


「木ノ蔭恋し」 板倉利一

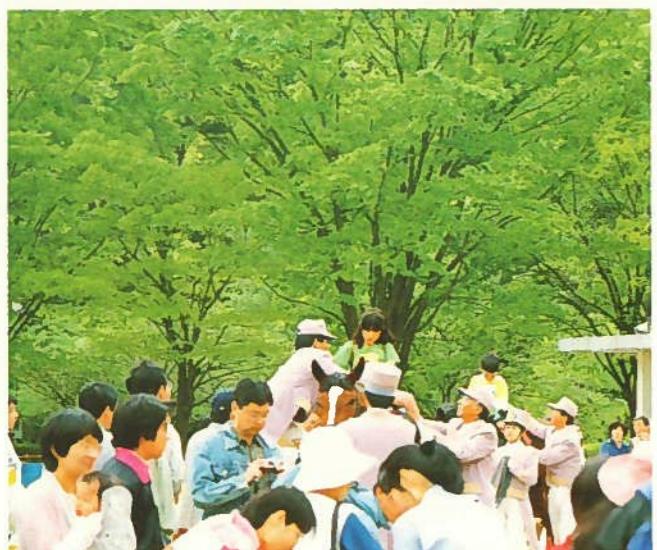
—優秀賞—



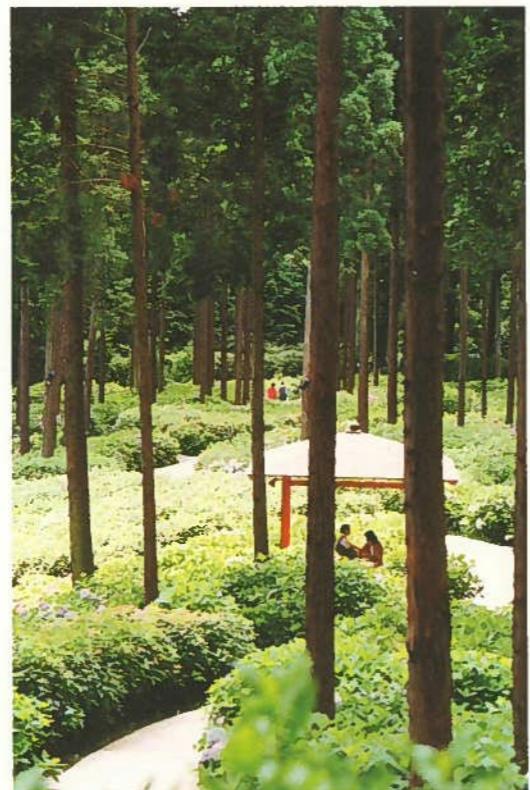
「休日のひととき」 安達貞義



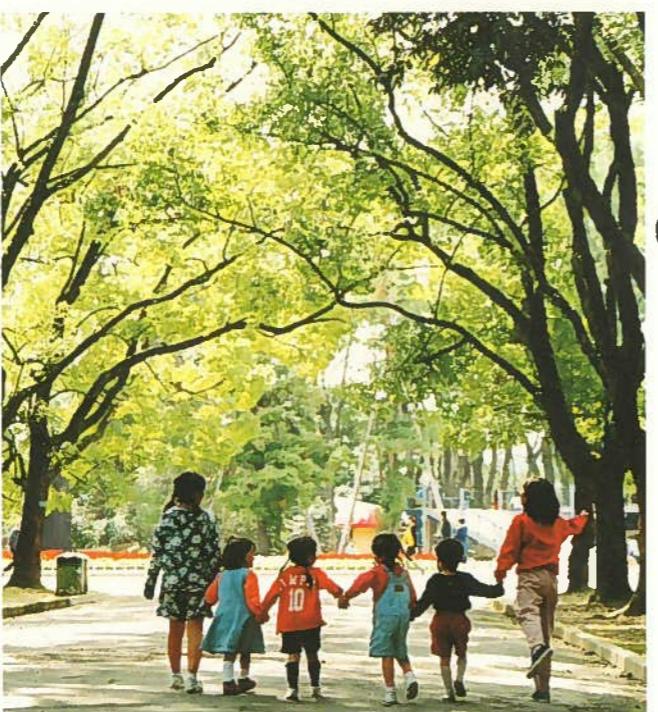
「自然の中で遊ぶ」 戸田米一



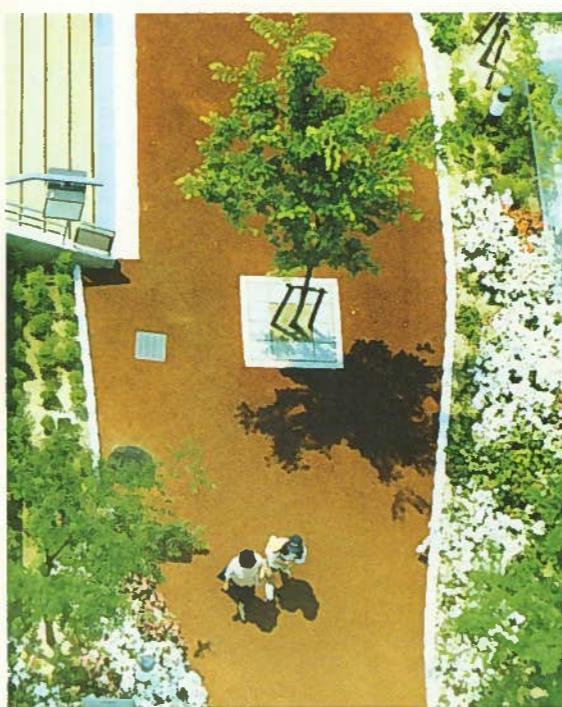
「緑を乗せて」 北川順子



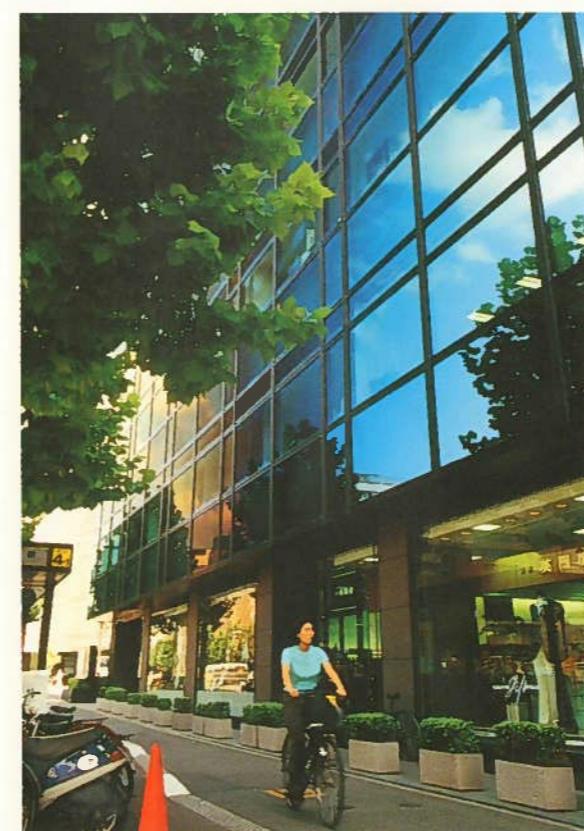
「三室戸寺」 山本純子



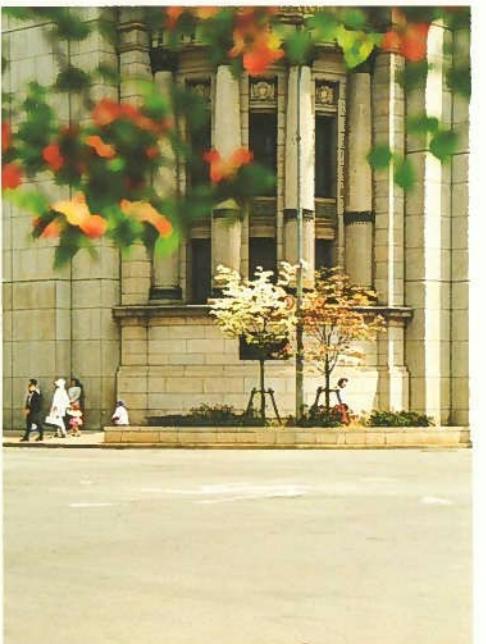
「緑のシャワーを帶びて」 倉田武彦



「緑の散歩道」 中川敦夫



「緑のレフレクション」 河原林 豊



「ビル街の緑」 藤本正則



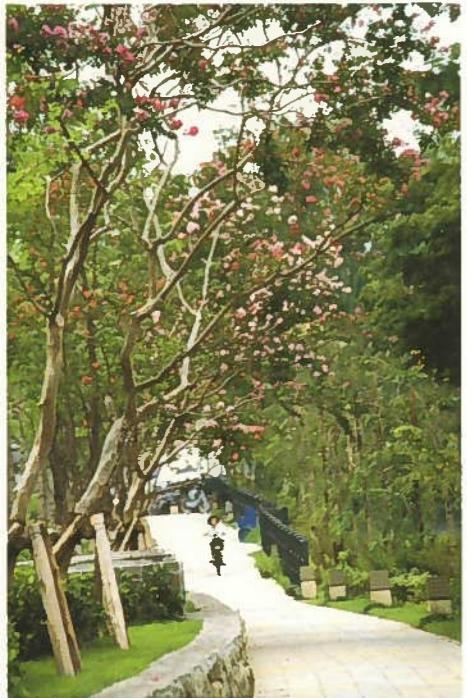
「整備されたグンゼ記念館」 安藤業



「町家の花壇」 嘉納邦夫

—優秀賞—

—佳 作—



「さるすべり咲く川沿いの道」天野咲子



「夏の朝」高橋好子



「散策」大上キミヨ



「新緑と育つ」森 寿美



「噴水」森津二郎



「新緑の下で」合月 稔

—佳 作—



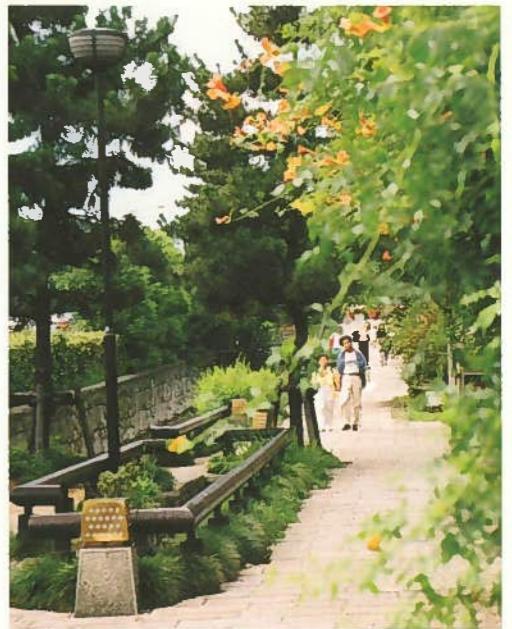
「木陰で一休み～暑かったね～」近藤亮二



「水上のリハーサル」田崎一郎



「北山メルヘン」中野 豊



「せせらぎの道」横道政一

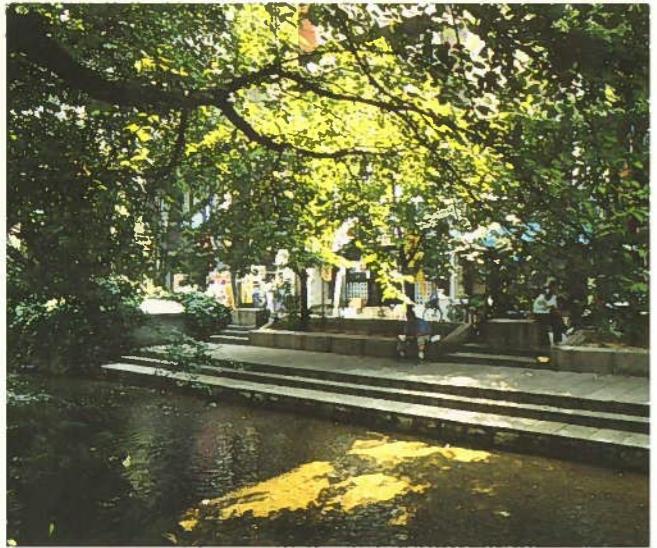


「ゴールデンハット」有川正治

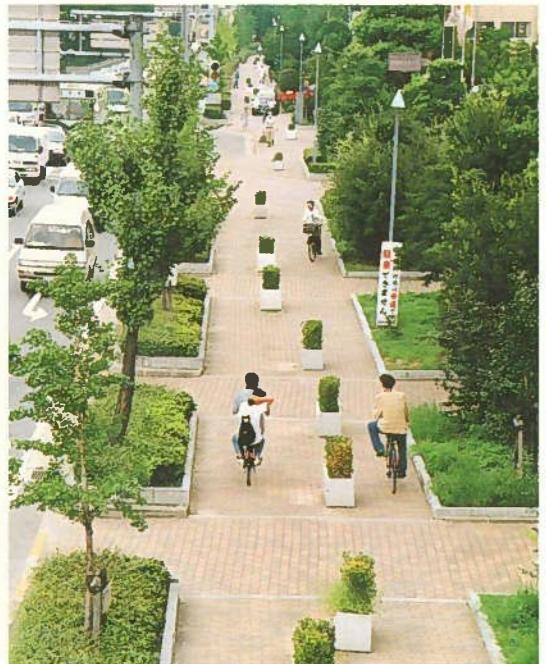


「歩道」西村 實

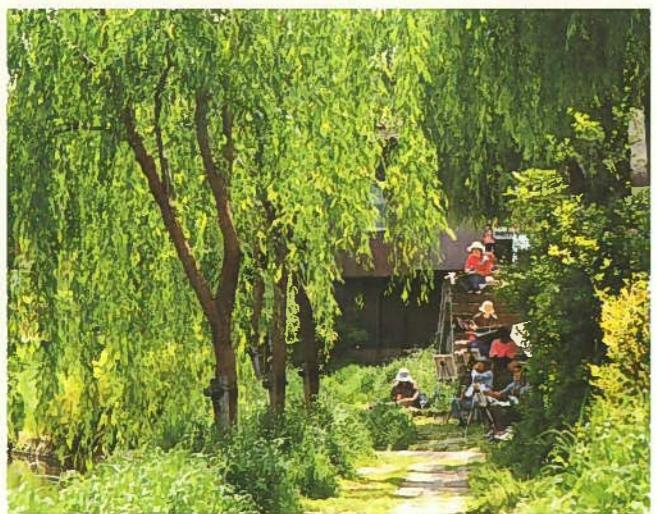
—佳 作—



「水辺の木蔭」井村 清美



「グリンロード」畠 精一



「5月の色」片月 敏雄



「ビルに写る木々」白井 敏夫



「街路樹」太田 盛男



「きらびやか」岡田 直三

—佳 作—



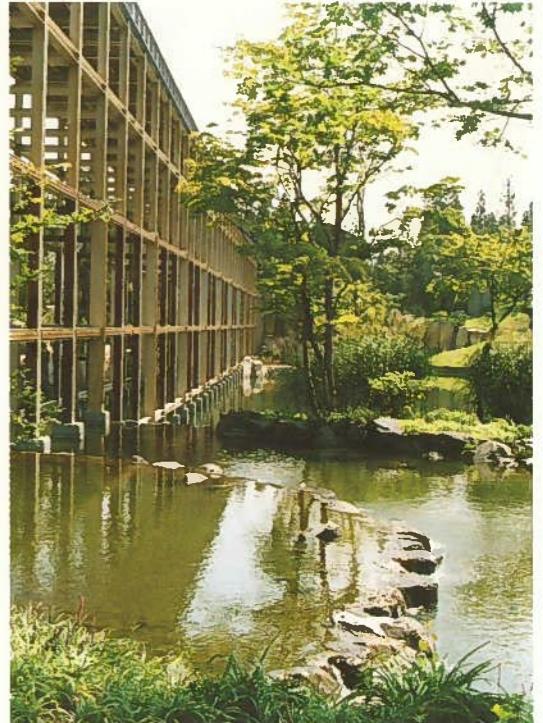
「ビューティフルサンデー」石井 実



「小雨の街角」浜崎 照男



「新緑の池畔」原 幸子



「橋と池と緑」余田 功

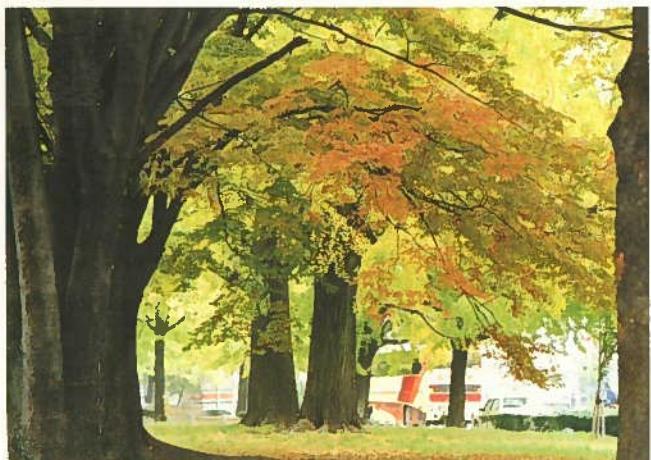


「緑下のブルペン」長岡 隆男

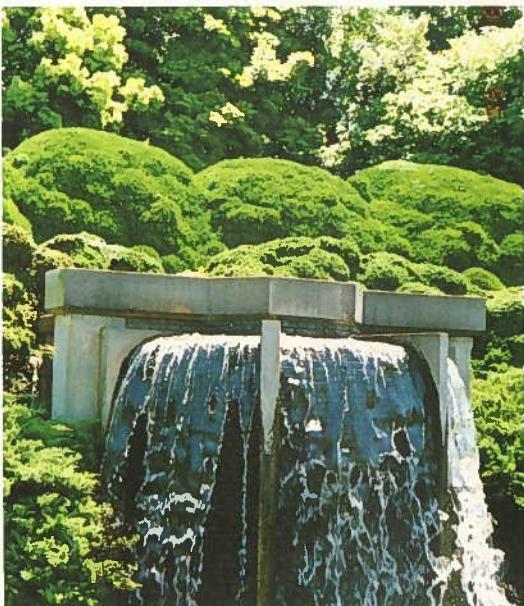


「花の手入」名田 博

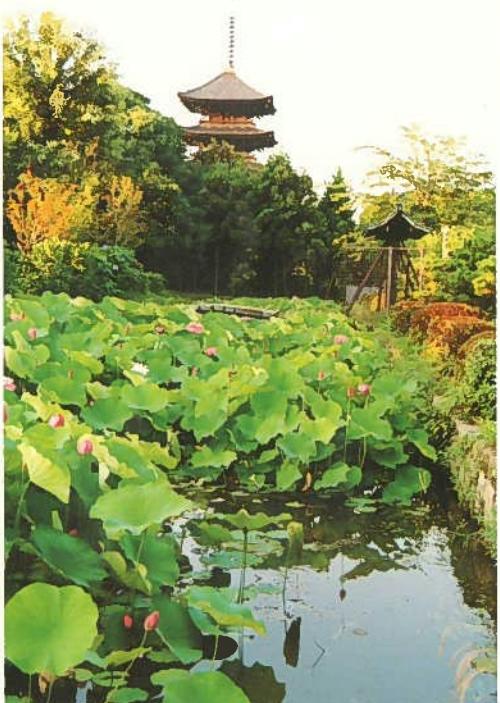
## —佳 作—



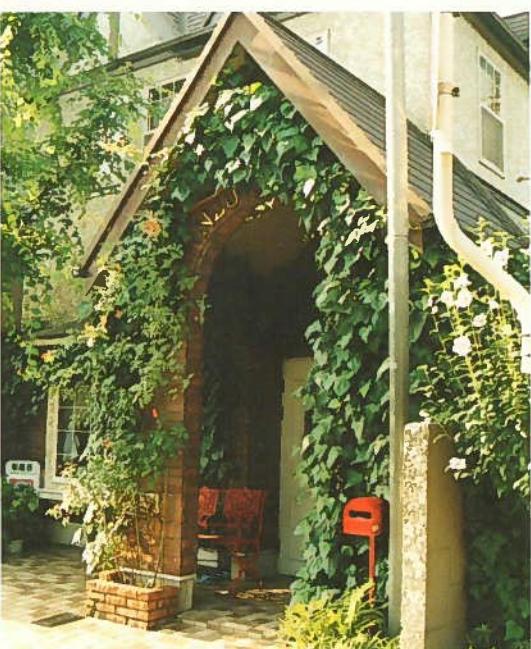
「京都の街路樹」伏木弘臣



「水と緑」寺川湖三



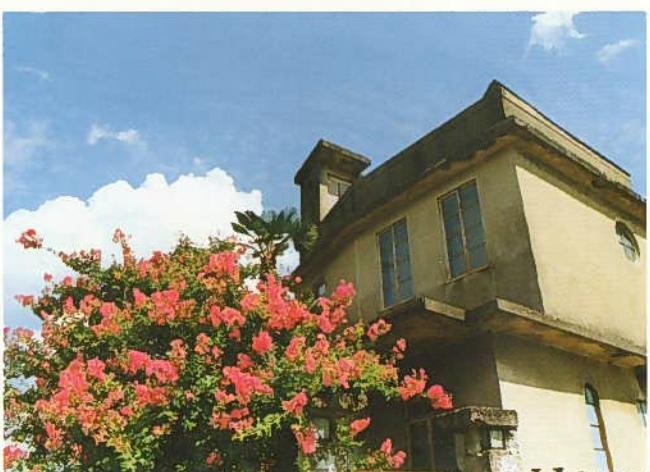
「東寺のはす池」上野松雄



「赤いポストの家」杉本 章



「花と緑の家」久保怜仁郎



「さるすべりと洋館の家」 笹川 一

# 第12回京都都市緑化写真コンクール講評

古都保存文化写真協会会長

写真作家 小林文司

街の緑を守り育てていこうと始まったこの写真コンクールも、第12回目を迎えたが、毎回多くの方々の作品を見るにつけて、あらためて緑に対する思い入れの深さを感じています。

私たちが住む都市はコンクリートの建物など人工的な要素によって造られ、ますます便利で高度な機能を有する街ができあがっていきます。そうした中で、公園や街路樹などの都市の緑は季節の移り変わりや自然の生命を私たちに感じさせてくれます。豊かな都市環境づくりに欠かせない都市の緑、アスファルトに覆われた厳しい成育環境で必死にガンバル都市の緑、また、その緑の中で生きている私たち、緑づくりに努めている姿、そういう都市と緑とのつながりを念頭に置いて本年の写真コンクールの選定に当たりました。

第12回の応募作品数は304点と、昨年より1割増えました。作品のレベルとしてはあまり進歩のあとが見られないという印象を受けましたが、後戻りもしていないので、今年も全体としては及第点であったと思います。

京都府知事賞は、空と水のブルーなど構図のバランスがよく、オーソドックスではありますが誰が見ても好感の持てる作品でした。

京都市長賞は、見ていて美しい作品で、こういう家が続くと町並みも調和するものと思われます。一つの町のあり方を示しているのではないかでしょうか。

京都府公園公社理事長賞は、入賞作品の中では一番斬新ですが、ブルーの発色が少し強すぎるのとバスの赤にもう一工夫あればと思う惜しい作品でした。

京都市都市緑化協会理事長賞は、春の菜種に桜が咲いて小さな赤のアクセントもよく利いている和やかな作品で、道を取り入れた構図もよく考えています。

京都府造園建設業協会長賞は、グリーンが生きた美しい作品で、画面に対する人物の比重もよいのですが、画面の中心よりやや後ろに人物をおいたほうがよかったです。

総評としては、優れた作品というよりは、オーソドックスではあるが素直でごく自然な作品が多いように感じましたが、こういう年もあってよいと思います。緑というテーマが難しいのかも知れませんが、自分の足で歩いて、一度ならず二度、三度訪れるこことにより、今までにない新しい緑を見発見することができるでしょう。都市の緑を守り育てることは、その都市の文化度を推し量る尺度といわれます。カメラのレンズを通して緑の大切さを認識し、皆の力で緑あふれる美しいまちづくりを進めていきたいものです。

## 第12回京都都市緑化写真コンクール

- 主催／京都府都市計画協会
- 共催／京都府、京都市、(財)京都府公園公社、  
(財)京都市都市緑化協会、(社)京都府造園建設業協会
- 後援／京都府市長会、京都府町村会、京都新聞社、KBS京都、  
 $\alpha$ -STATION FM KYOTO
- 協賛／京都府造園組合連合会、日本造園修景協会京都府支部、  
京都府写真材料商業組合、コニカ株式会社  
(順不同)